

町会報

えひめ

2015
8
Vol.77

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



伊方町「イルミネーション」



冬の恒例行事となっている湊浦の大川を彩るイルミネーション。今年は、昨年より範囲を拡大して賑やかにいきます。イルミネーションの点灯期間は12月4日から1月下旬まで(17:00～21:30) 予定しています。

また、今年からは本町大久出身、中村修二博士のノーベル賞受賞に因み、大久展望台でライトアップを行います(通年点灯)。リニューアルした「あかりのまち」へ、ぜひご家族、お友達とお立ち寄りください。

Contents

9 町長と地域の未来をささえる世代との交流会	2~3
総合事務組合だより	4
四国地区町村議会議長会会長会	5
四国四県町村会・議長会合同事務局長会議	6

愛媛県町村監査委員協議会研修会	6
随想 松田八重子鬼北町議会議長	7
一筆	8
8月の行事	8
編集後記	8

こんな町にしてほしい！

『9町長と地域の未来をささえる世代との交流会』



「9町長と地域の未来をささえる 世代との交流会」日程

平成27年 8月29日(土) 13:30～
松山全日空ホテル 南館 2階
サファイアルーム

愛媛県町村会

1. 開 会 13:30～
2. あいさつ
愛媛県町村会 会長 白石 勝也
3. 本日の日程等について説明
4. 【第1部】町長を囲んで意見交換 13:40～
5. 【第2部】参加者全員での交流会 15:00～
6. 閉会あいさつ 17:00

こんにち地方では、少子高齢化の進展により生産人口年齢が減少しています。これから将来に向けて、地方が発展していくためには、地域の未来をささえる世代が活躍していくことも重要です。このため愛媛県町村会では、これから若い世代が安心して働き、将来に夢や希望をもてるような魅力あふれる地方を創出し、それぞれの地域で生活、結婚、出産、子育てができるような地域づくりを目指すと、8月29日(土)松山全日空ホテルで「県内9町長と地域の未来をささえる世代との交流会」を開催しました。

日程は別掲のとおりで、二部構成。一部では町の将来等に関して町長と個別に意見交換を行ったほか、二部では、席替えをしながら参加者全員での交流会。県内各町から約90名の参加を得て、終始、和やかな雰囲気での絶えない交流会となりました。



高野副会長



白石会長の開会あいさつ

「魅力ある町にしていくために」と若者と9町長が話し合いました



上村上島町長



高野久万高原町長



白石松前町長



佐川砥部町長



稲本内子町長



山下伊方町長



阪本松野町長



甲岡鬼北町長



清水愛南町長

総合事務組合だより

平成27年第2回愛媛県市町総合事務組合議会定例会は8月10日に開催され、平成26年度決算など4議案を上程し、いずれも承認又は原案のとおり可決された。決算の概要は、次のとおり。

【平成26年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算】

歳入		(単位：円)
款	項	金額
1	負担金	6,115,388,675
	1 退職手当負担金	5,762,632,433
	2 消防負担金	297,934,042
	3 交通災害共済掛金	46,508,200
	4 自治会館負担金	8,050,000
	5 公務災害負担金	264,000
2	使用料	3,600,000
	1 会館使用料	3,600,000
3	消防基金等支出金	288,886,970
	1 消防基金支出金	288,886,970
	2 議員連合会支出金	0
4	財産収入	7,319,556
	1 財産運用収入	7,319,556
5	繰入金	4,000,000,000
	1 基金繰入金	4,000,000,000
6	繰越金	465,538,133
	1 繰越金	465,538,133
7	諸収入	55,062,488
	1 預金利子	597,494
	2 団体支出金	50,908,804
	3 雑入	3,556,190
歳入合計		10,935,795,822

歳出		(単位：円)
款	項	金額
1	議会費	48,059
	1 議会費	48,059
2	総務費	100,403,218
	1 総務管理費	100,394,218
	2 監査委員費	9,000
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3	事業費	5,099,455,357
	1 退職手当事業費	4,491,374,814
	2 消防事業費	569,202,605
	3 交通災害事業費	26,220,291
	4 自治会館事業費	10,324,727
	5 議員公務災害事業費	2,332,920
4	公債費	0
	1 公債費	0
5	諸支出金	4,904,192,000
	1 基金積立金	4,904,192,000
6	予備費	0
	1 予備費	0
歳出合計		10,104,098,634

【基金積立金会計】 (単位：円)

積立金種別	金額
退職手当基金積立金	5,171,007,000
消防賞じゅつ金等基金積立金	164,124,000
交通災害見舞金基金積立金	173,863,000
会館財政調整基金積立金	97,806,000
議員公務災害補償基金積立金	5,183,000
合計	5,611,983,000

【翌年度繰越金内訳】 (単位：円)

積立金種別	金額
退職手当繰越金	803,894,922
消防繰越金	2,963,491
交通災害繰越金	16,459,778
自治会館繰越金	7,916,613
公務災害繰越金	462,384
合計	831,697,188

【平成26年度 各事業における支払の状況】

退職手当

種別		人数	金額
特別職		10	70,659,592
一般職 (283名)	普通退職	70	434,261,074
	勸奨退職	21	417,911,930
	定年退職	180	3,442,774,887
	その他退職	12	108,192,200
合計		293	4,473,799,683

消防

種別	人数	金額
団員災害補償費	13	1,857,770
障害・遺族補償年金	3	4,795,200
従事者災害補償費	0	0
退職報償金	635	282,236,000
合計	651	288,888,970

交通災害

種別	人数	金額
災害見舞金	285	21,530,000

議員公務災害

種別	人数	金額
災害報償費	0	0

議長全国大会に

「四国8の字ネットワーク」の早期整備を要望

四国地区町村議会議長会会長会

第173回四国地区町村議会議長会会長会が、高知県当番により、8月21日高知市の「高知会館」で開催され、四国4県の会長及び事務局長が出席。本県からは山下副会長が出席した。

会議はまず、地元高知県の尾崎会

長及び四国地区会長の株田徳島県会長があいさつを述べた後、規約の定めるところにより尾崎高知県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。まず、会議録署名人に次期開催県の山下愛媛県副会長を指名した後、

次のとおり議事が進められた。

議 事

1 平成27年度四国四県町村長・議長大会について
中村香川県事務局次長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案のとおり決定した。

2 第56回四国地区町村議会議長会研修会について
後藤田徳島県事務局次長から27年度の研修会の開催概要及びその持ち方について説明があり、協議の

結果、原案どおり開催することに決定した。

3 第59回町村議会議長全国大会に提出する四国地区町村議会議長会の要望事項について
後藤田徳島県事務局次長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案(別掲)のとおり決定した。

4 次期四国地区会長の開催について
次回は、28年3月に愛媛県で開催することに決定した。

第56回四国地区町村議会議長会研修会 日程

と き 平成27年10月23日(金)
と ころ 徳島グランヴィリオホテル

- 12:30~13:00 受付
- 13:00~13:20 開会あいさつ 自治功労者表彰
- 13:30~15:00 講演 「日本はどう動いているのか」—政治・経済の行方—
講 師 ジャーナリスト・共同通信客員論説委員
後藤 謙次(ごとう けんじ)氏
- 15:00~15:15 休憩
- 15:15~16:45 講演 「神山プロジェクト」—創造的過疎から考える地方創生—
講 師 特定非営利活動法人グリーンバレー理事長
大南 信也(おおみなみ しんや)氏
- 16:45~16:50 閉会あいさつ

「四国8の字ネットワーク」の早期整備及び道路インフラの老朽化対策に関する要望

「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国の高速道路ネットワークを形成することで、物流をはじめとする様々な経済活動や交流を促進し、四国の活性化に大きな効果をもたらす重要かつ根幹となる社会資本である。

しかしながら、「国土ミッシングリンク」により、高速交通ネットワークの機能が十分形成されていない四国地方は、豊かな自然や多様な地域資源が活かされず、地域経済の発展や観光振興に大きな影響を及ぼしているとともに、過疎化の進行など他の地域との格差が拡大している。

近い将来発生すると予測される南海トラフ地震等の災害時において、迅速な人命救助や緊急支援物資の輸送のためには「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」の早期整備は急務であり、また、今後、四国地方が地域の強みを生かし、地域連携によって自立し、災害に強い国土を形成し、住民の安全・安心な暮らしを確保するためにも、高速交通ネットワークを早期に確保することは四国にとって喫緊の課題である。

一方、高速道路から市町村道に至る道路の老朽化対策も急務な課題となっている。

道路の橋梁は全国で70万橋、トンネルは1万箇所といわれており、なかには老朽化等による危険を指摘されるものも含まれている。今後の震災対応をはじめとする安全・安心な地域社会の構築のために、チェック体制を確保し、必要に応じた対策を早急に講ずる必要がある。

よって、国は下記の事項について早急に適切な措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 高速交通ネットワークの整備は、地域の活性化や生活利便性の向上、都市と地域の連携強化、さらには、南海トラフ地震等の災害時の緊急輸送道路の確保や救急患者の輸送時間の短縮などに大きく寄与する重要な事業であるため、経済性や効率性だけを優先することなく、地方の実情を踏まえて行うこと。
特に、緊急時に「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」は、国の責任においてミッシングリンクの解消及び暫定2車線となっている区間の4車線化も含め早期整備を図ること。
- 2 道路の老朽化対策は待った無しの状況にあるが、市町村は財政、人員、技術等の面で課題があることから、国は、地方が真に必要な道路整備の予算確保に加え、道路インフラの老朽化対策を進めるため、点検、診断、補修等に対する補助制度の拡充等、財政措置を充実するとともに、人材育成等も含めた点検・診断システムの構築を図ること。
- 3 整備が遅れている四国地方の国道、県道、市町村道等については、住民にとって利便性が高く機能的で地域の実情に即した道路網となるよう整備を促進すること。

四国四県町村長・議長大会に向けて 四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議

8 / 18 松山市で開催

四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議が、8月18日松山市の「県自治会館」で開催され、各県事務局長や担当者が出席。「四国四県町村長・議長大会」の開催要綱等を別掲のとおり決定した。

首長と議会は二元代表制の仕組みにあることから、町村会と議長の要望事項には若干の差異がある。しかし、それぞれの目的は町村行政の進展と住民福祉の向上であり、例えば町村財政の充実強化や地方分権の

進展、さらに道路網の整備促進など、ほとんどが共通している。

こうしたことから、四国57の町村長と議長が一堂に会して、立場を超えて共闘しよう。そして、四国の魅力を外に広く発信・アピールしようとする狙いのもとに、四国四県輪番で開催しているもの。

二回目に入った今回は、9月28日(月)午後2時から香川県琴平町の「琴参閣」で、別記の大会要綱のとおり開催される。

平成27年度四国四県町村長・議長大会開催要綱

- | | |
|---------|--|
| 1 名称 | 四国四県町村長・議長大会 |
| 2 目的 | 四国の57の町村長・議長が一堂に会し、議会と執行部の立場を超えて「元氣溢れる地域をつくる」との強い信念のもと、町村の抱える重要課題について研修・意見交換・審議し、その実現のためお互いに連携を密にしながら、総力を結集して行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民福祉の向上を期する。 |
| 3 主催 | 四国四県町村会
四国四県町村議会議長会 |
| 4 日程 | 平成27年 9月28日(月)
(1) 大会 午後2時00分～3時25分
(2) シンポジウム
「都市・農村共生社会の創造と町村の役割」
～地方創生政策への対応を踏まえて～
パネルディスカッション 午後3時40分～5時10分

(3) 意見交換会 午後5時40分～ |
| 5 開催場所 | 琴参閣
香川県仲多度郡琴平町685-11 TEL0877-75-1000 |
| 6 出席者 | 四国四県町村長 全員
四国四県町村議会議長 全員 |
| 7 審議事項 | ・提案議題
・決議 ・特別決議 |
| 8 大会次第 | (1) 開会のことば (2) 国歌斉唱
(3) あいさつ (4) 宣言
(5) 来賓祝辞
香川県知事、香川県議会議長、全国町村会長、
全国町村議会議長会長
(6) 議長選出
(7) 議事 提案議題審議
(8) 決議 (9) 共同アピール
(10) 実行運動方法協議 (11) 閉会のことば |
| 9 意見交換会 | (1) 開会 (2) あいさつ (3) 乾杯
(4) 懇談 (5) ガンパローコール
(6) 閉会 |

平成27年度研修会を開催

県町村監査委員協議会

平成27年度愛媛県町村監査委員協議会研修会が、8月24日(月)午後2時から「えひめ共済会館」で開催され、町監査委員ら23人が出席した。

研修会は、まず片岡会長(内子町代表監査委員)が挨拶を述べたのち、ただちに研修に入り、砥部町代表監査委員の影浦浩二氏を講師に迎え、「法律的背景と監査委員のあるべき姿」と題して、①法理的背景と監査委員のあるべき姿、②有効かつ効率的な監査のために、③(補)住民監査請求の3点について、約2時間半の講演を聴講し、午後4時40分、小島副会長(愛南町代表監査委員)の閉会あいさつで研修会を終えた。

なお、研修会終了後に同会館で、監査委員相互の交流を深めるための意見交換会を実施した。



講師：影浦砥部町代表監査委員



研修会次第

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 開会 | 14:00 |
| 2 あいさつ | 片岡会長 |
| 3 研修 | 14:05～16:40 |
| 「法律的背景と監査委員のあるべき姿」 | |
| 砥部町代表監査委員 | |
| 影浦浩二(かげうら こうじ)氏 | |
| 4 事務連絡 | 16:40～17:00 |
| 5 閉会 | 小島副会長 17:00 |

随想

「森がすすく、川がいきいき、人が元気」な町の実現に向けて

鬼北町議会議長 松田 八重子



昔から鬼北地方と呼ばれた鬼ヶ城山系の北側に面した地に、11の町村が点在し、昭和の合併によって、三



間町、広見町、松野町、日吉村の3町1村が誕生した。

広見町は、昭和33年3月31日に、1町4村が合併し「緑と清流の町」としてスタート、明るく活力ある町を目指した。合併から半世紀、経済の低迷や少子高齢化が進み、道路交通事情等生活圏の拡大、生活様式や環境の変化する中、平成の合併が浮上し我町も合併推進に努めた。

当初は、「鬼北は一つ」の合言葉で3町1村の合併を進め、町民も望むところだったが、それぞれの町の事情もあり最終的に、広見町、日吉村の1町1村の小さな合併となった。町名は鬼北を選び鬼北の名を遺した。産業や文化、人情、生活形態等を考えると、共通点のある無理のない合併と思っている。

誕生した鬼北町は、総面積の85%が森林で、豊かな森に囲まれ、四万十川の源流といわれている広見川、奈良川、三間川の清流にも恵まれた自然の多い町である。その自然の中で一人一人が元気で暮らせることを願う「森がすすく、川がいきいき、人が元気」な町づくりに取り組んでいる。しかし、合併して10年、当初12,889人だった人口も現在11,018人と人口減の厳しさに

直面している。

かつては鬼北地域の中心地で、ここには国営のアルコール工場や公的施設等が集中してあった。また、娯楽施設や商店街も多くの人で賑わい活気があった。当時を想うと懐かしい。賑やかさを取り戻すことは大変に思う。

そこで町では、定住人口は望めなくても交流人口に期待し、さまざまなイベントや観光への誘客に努めている。今、新たな町おこしに力を入れている「鬼」を紹介する。

「鬼」の文字が入る自治体は、全国に唯一鬼北町と言うことで、旧広見町にある道の駅「森の三角ぼうし」に、「鬼」を前面に巨大鬼のミニチュメント「鬼王丸」を設置、新たな観光ルートの一つとして脚光を浴びている。来年度は、旧日吉村にある道の駅「夢産地」に設置の予定である。町おこしの新しい場所として、2体の「鬼」が連携し、鬼北の里に夢のある賑わいを切望している。

来年「えひめいやしの南予博2016」が開催される。これまで以上に南予の発展と成功を願い、鬼達に大きな期待を寄せ、これから山積する



◎竹谷隆之/鬼北町

課題の一つ一つ取り組み、議会の役割を果たし、国策である地方創生「まち、ひと、しごと」事業を、行政、議会、町民が一体となって推進、開かれた議会として町民から信頼されるよう願っている議員の一人として努力を重ねていきたい。



忘れてはならない

8月も処暑が過ぎると少し蒸し暑さが和らぎ、真夏の騒がしかった蝉の鳴き声も静かになった。

さて、8月は日本人にとり、忘れてはならない月である。昭和20年8月6日午前8時15分に広島へ世界最初のウラン型原子爆弾が投下され、9日午前11時2分、長崎にプルトニウム型の原子爆弾が投下された。人に対する原爆実験との説もある。非人道な所行は、一瞬にして約22万余人の生命を奪い、同数超の被災者が健康障害に苦しめられ、戦後70年その傷跡は心身ともに深く、癒えていない。

既に戦の勝敗が決まっていた時期にもかかわらず、昭和20年、各地への空襲は激しいものであった。軍人ではない一般市民の多くが、沖繩の地上戦で巻き込まれ、東京はじめ大都市から地方の市町村まで、全てが空襲によって悲惨な目にあつた。

勝者のサイドにありながら、焼夷弾（木造家屋に対する火災、大延焼を目的とした油脂性）による「焼き尽くせ作戦」や小型爆弾、鉄片ばら撒きなど空からの容赦ない攻撃。市井の主として多くの婦女子は、逃げまどい猛火で尊い命を奪われた。さらに行き場のない、助ける人もいない戦災孤児123千余人を生んだ悲劇を忘れてはならない。見渡す限り焦

土と化した故郷。終戦後の生活苦難などその惨劇は筆舌に尽くし難い。

15日は「終戦の日」である。戦後生まれが80%を越す現社会。10歳から20歳代のあるアンケート(首都圏)では、8月15日が、何の日か知らない者が50%を占めた。戦後何年経つか分からない者が32%占める。太平洋戦争の相手国は？、不可侵条約を一方的に破り参戦した国はどこ？、戦後の過酷なシベリア抑留の件など、「知らない・分からない者」が多い現実に愕然とするのは筆子だけ？。わが国の近代歴史教育はどうなっているのか。これが平和を当たり前とする現実。平和を噛み締めよ！。

「平和」な現社会は、自然発生ではない。二十歳前後の将来ある優秀な若者4000余人が特攻隊員として尊い命を落とした事をはじめ、大戦で300万人を超す犠牲者が、礎になつて決つて忘れてはならない。

戦後生まれの者は今日、刻々と変化する世界情勢を直視すると共に、明治からわが国を取り巻く諸外国の動き、戦争に入つた事由など歴史の真実を素直に読み取る努めをすべきである。

今後とも平和を享受するためには、忘れてはならない歴史がある事。虚偽や誇張に走らない事実を理解し、自分自身で真実を見極める事。外野席の中傷に惑わされてはならない。

「悪は、山頂の転石のように、最初は子供でも押せるが、それを止めることは巨人にも出来ない」
(トレンチ 英国の詩人)

8月の会と催し

- ▽3日 第2回愛媛県人口問題総合戦略推進会議
- ▽5日 内外情勢調査会松山支部懇談会、第8回農地制度のあり方に関するプロジェクトチーム会、委託事業特別会計関連の担当職員打合会議
- ▽6日 均等割分の「都道府県別市町村数」の取扱いに係る意見交換会
- ▽7日 精神科医及び保健師の共同設置に係る検討会
- ▽10日 愛媛県市町総合事務組合議会定例会
- ▽12日 平成27年度愛媛県消防協合理事会(第2回)
- ▽15日 愛媛県戦没者追悼式
- ▽18日 愛媛県防災会議、四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議
- ▽19日 愛媛県サイクリングの日推進協議会委員の設立及び総会、平成27年度第2回えひめ6次産業化推進チーム会議
- ▽21日 第173回四国地区町村議会議長会会長会
- ▽24日 愛媛県町村監査委員協議会平成26年度会計監査、同平成27年度研修会
- ▽25日 宮城県内被災自治体視察事業(26日まで)
- ▽26日 (公社)愛媛県浄化槽協会第25回理事会
- ▽27日 軽自動車税会議開催に伴う事前打合せ、愛南町議会議員研修会

- ▽28日 第34回愛媛県特用林産教育振興協議会通常総会、愛媛県農業会議8月定例常任会議、えひめ国体選手及び指導者確保推進班会議
- ▽29日 9町長と地域の未来をささえる世代との交流会
- ▽31日 平成27年度過疎対策担当職員研修会(9月1日まで)

編集後記

稲穂が頭を垂れようとしています。早いところでは、お盆の頃から稲刈りが始まるようです。農は国のもとです。五穀豊穣、実り多い収穫となりますように。

知っていますか？炊飯器で炊いたご飯は、じつは表面がいちばんおいしいって。ある新聞のコラムからの引用なんです。料理研究家の本にこう書いてありました。「表面のご飯は甘みがつくと深く、しゃもじで混ぜるのは、おいしさを均等にするため」だそうです。うまい米は上へ上へと集まる。これって、米に限らず、なんにでも言えそうですね。

僕がご飯が好きです。それも、やわらかめが。でも、細君は硬め好き好き嫌いだけは折り合いがつかないので、普段は我慢しているんですが、ときどき工作しています。寝静まった後、前の晩に仕かけたジャーに、カップ半分くらいの水をそっと足してやるんです。いつもやるとバレルので、ときどきしかやりません。これでおいしいご飯にありつける、シメシメ。